

第6回士別市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日時：令和2年4月8日 10:30～

会場：副市長室

出席者 牧野市長、 相山副市長、 中峰教育長、 三好副院長、
中館総務部長、法邑市民自治部長、田中健康福祉部長、井出経済部長、千葉建設水道部長、
武田朝日支所長、鴻野生涯学習部長、加藤病院事務局長、柳消防長
庶務 保健福祉センター 松ヶ平

協議事項

1、国の緊急経済対策への対応について、各施設の役割分担と、市の独自施策について

1) 各施策の役割分担 別紙1のとおり

30万円の給付金については、税情報の確認などもあり、各部署で協力し、プロジェクトチームを設置し対応していきたい

2) 市の独自施策

補正予算の締切を4月16日として準備を進める。予算提案は、感染症収束後の消費拡大に向けた経済対策の内容など、国の動向を注視しなければならない部分もあるため、4月中が難しい場合は5月19日の臨時会など状況を見ながら検討する。

2、新型コロナウイルス対策消耗品所要額調査について 別紙2（ガルーンで各課に送付）

補正予算の締切の関係から4月13日までに財政課長まで提出。

内容としては、今後1ヵ月でコロナの感染者が発生したときに必要になる消耗品を記載。

コロナ感染症対策実施計画を作成（総務課）し、市全体で取りまとめて申請する。

3、当面の市イベント等のあり方について

5月6日までは、不特定多数の人が集まるイベントは自粛。

市民の通常利用のものは、開催。ただし、例えば講師に市外の人が来市して開催するものなどは、特定の人が集まる内容のものは体調管理、自己管理を徹底してもらい開催

1市3町の人への対応はこれまでと同様。感染者発生している地域の人の施設や集まりへの参加はご遠慮頂く。

健診等、健康管理に関するものは開催方法は検討しながら実施。

オリンピックデーランは、延期が可能であれば6/21は開催せず、9月頃などを検討

ディスタンスチャレンジは、5月の連休明けに判断。

ハーフマラソン、ふれあいひろばは開催で準備し、状況に応じて中止等判断。

4、その他

- ・児童館の中・高校生の利用は、接近を避けるように注意が必要。注意を聞かないようであれば、個別の利用中止などの対応が必要。
- ・部活動の対応は、別紙3（道の団体でとりまとめたもの）を参考に接触を避けるように実施を。イベント開催については、近隣市町村の状況を注視。（情報収集を）

- ・感染者が急増した場合の軽症者療養場所について、道が調整することになっているが、この地域ではどこで対応するのか、その対応は医師看護師の配置とあるが、病院で勤務している医師や看護師では難しくどうするのかなど、病院の方で、保健所に確認する。